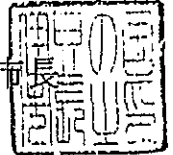


伊 国 建第 277 号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

伊豆の国市長



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

このことについて、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

静岡県伊豆の国市

全国の観光地へのアクセス道路が基準通りの寸法で完成されていく中、地域ごとの特色ある道路整備に伴う補助採択はできるか。各市町では、道路財源が厳しい現状に鑑み、国・県の色々な補助メニューを活用し、市街地整備を進めているところでありますが、各市町の特色を出せる道路整備事業の補助率等の（事業費・寸法）の拡大を要望します。

○現状

伊豆半島の観光は、昭和63年をピークに年々下降気味となり、7300万人強を数えた観光客の入り込みも、平成6年度には4200万人になりました。この減少は、道路だけの問題とは考えられない部分もありますが、交通渋滞がひどいというのが口コミで広がっていて、観光客に敬遠されているのが現状です。

○課題

今、国が伊豆縦貫自動車道の整備を実施しているが、なかなか進まない状況にある。当初計画では、多くの区間が完成し、供用開始となっている予定です。

「伊豆は一つ」をスローガンに、一刻も早い全線開通を図り、伊豆の観光・産業の物流等における活性化を図っていただきたい。

静岡空港の開港が目前となり、伊豆半島への交流人口の拡大が期待される。伊豆縦貫道・東駿河湾環状道路の整備が進み、伊豆観光の目玉となる温泉と美しい景観を求め、外国人を含む、多くの観光客が訪れ、伊豆半島全体の観光・産業の活性化が図られる。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施柵の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

静岡県伊豆の国市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の 向上	伊豆縦貫自動車道の整備促進	伊豆半島への観光客増加による観 光・産業の活性化	